

防災科研・JAMSTEC連携シンポジウム

災害に強い社会を実現するための科学技術

南海トラフ 地震・津波防災

開会挨拶

来賓挨拶(ビデオメッセージ)

南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める10県知事会議
代表世話人 高知県知事 濱田 省司

基調講演

防災科研とJAMSTECとの連携による取り組みへの期待

平田 直 東京大学名誉教授、地震調査委員会委員長、
南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会会長

坂東 淳 徳島県南部総合県民局長、徳島大学客員准教授、
前徳島県危機管理環境部危機事象統括監

講演

防災科研とJAMSTECの取り組み～過去・現在・未来～

「なぜ海域で観測をするのか?～南海トラフ地震に備えるためのN-net～」 青井 真:防災科研

「海の下でいま何が起きているのか?」 堀 高峰:JAMSTEC

「どう地震・津波災害を減らすのか」 高橋 成実:防災科研、JAMSTEC

※講演のタイトルは変更になる場合がございます。

パネルディスカッション

防災科研とJAMSTECとの連携による研究開発とその成果の社会実装についての期待

コーディネーター: 土井 恵治 土佐清水市国立公園ジオパーク推進課、元気象庁気象研究所長、元気象庁地震火山部長

パネラー

荒木弘祐 西日本旅客鉄道株式会社新幹線本部新幹線施設部土木グループ土木課長

大西 亨 室戸市観光ジオパーク推進課長、室戸ジオパーク推進協議会事務局長

杉崎 誠 三重県防災対策部防災企画・地域支援課長

中内啓文 和歌山県総務部危機管理局防災企画課長

早川雅朗 イオン株式会社総務部BCMグループマネージャー

坂東 淳 徳島県南部総合県民局長、徳島大学客員准教授、前徳島県危機管理環境部危機事象統括監

閉会挨拶

防災科研とJAMSTECは、南海トラフ地震・津波をはじめとした地震・津波へのレジリエンスの向上に資する調査観測、当該調査観測データを活用する研究開発並びに当該調査観測データ及び当該研究開発の成果の活用に関する社会実装について、国のみならず地域・企業等の地震・津波防災に貢献するため、両機関の強みを活かし協力して推進することを目的として、令和2年10月に包括連携協定を締結しました。

本シンポジウムでは、過去の地震・津波災害を教訓に、両機関が中心になって取り組む調査観測とそのデータを使った研究などについて、これまでの成果、現在の取り組み、今後の展望(挑戦)を紹介するとともに、地域・企業をはじめとした防災の担い手の皆様から、両機関の連携協力に対する期待や希望、課題などを提起していただきます。これを契機として、南海トラフ地震・津波へのレジリエンスの向上を目指した取り組みの進展に繋がります。

第1回

2023 1.30 Mon.
13:00～17:00

オンライン
開催

視聴のお申し込みは、下記のURLまたはQRコードより
事前登録をお願いいたします。



[https://bousailog.com/
banner_post/
nied-jamstec-
20230130](https://bousailog.com/banner_post/nied-jamstec-20230130)



国立研究開発法人
防災科学技術研究所
National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience



JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology